

# 市P連 青パト講習会兼青パト担当者研修会

令和6年6月6日(木)・12日(水)



6月6日(木)・12日(水)に、『青パト講習会兼青パト担当者研修会』(校外指導委員会担当)を実施しました。富士宮警察署生活安全課より長谷川巡査長を講師にお迎えし、県警本部「防犯パトロールマニュアル」をもとに、防犯パトロールの目的や手段、活動内容等について講話をいただきました。青パト活動をはじめ、防犯活動について学ぶ、貴重な機会となりました。

<講話より>

○防犯活動は

「気楽に！」日常生活の一部として気楽に取り組む。

「気長に！」続けることで、顔見知りの子供親住民が増え、地域安全の輪が広がり、犯罪の起きにくい環境がつくられていく。

「無理をしない！」事故、けがの防止を。危険な場面では無理せず、警察に通報する。

○防犯パトロールは、「自分たちのまちは自分たちで守る」気持ちで地域を巡回、見守る防犯活動。

「犯罪の被害防止」「こどもの見守り」「危険個所の点検」を主な活動にしている。

○手段としては、徒歩や自動車によるパトロール、ながら(ランニング、散歩、買い物等をし「ながら」)パトロール等がある。

○青パト活動中は、心にゆとりを持ち、周囲の安全を必ず確認して、模範運転を心がける。

新規取得の方、更新する方を合わせて、二日間で140名の方が参加されました。研修に参加していただいた皆様には、警察署より3年間有効の証明書が発行され、青色回転灯を点灯しながら運転することができます。

青パトの活動時には、防犯ベストを着る、青パト車に防犯パネルを貼る、青色回転灯を点灯するなどしているのので、地域の方にすぐ気付いていただくことができます。青色が目立ち、機動力のある青パトを走らせることで、地域の防犯意識を高め、犯罪を未然に防ぐ効果が期待されています。

受講された皆様のお力をお借りして、今後も、富士宮の安全が、保護者、地域の皆様によって守られていくことを願います。大勢の皆様のご参加、ありがとうございました。

今後とも、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

<文責>市P連広報委員長 山田香織(山宮小学校)